

瘡痂からみぬき
救せよ。

恵み、救いの日、
みぬき

49

7 イスラエルのあがない主、
イスラエルの聖者なる主は、
人に侮られる者、民に忌みきらわれる者、
つかさたちのしもべにむかつてこう言われる、
「もろもろの王は見て、立ちあがり、
これは真実なる主、イスラエルの聖者が、
あなたを選ばれたゆえである」。

8 主はこう言われる、
「私は恵みの時に、あなたに答え、
救の日にあなたを助けた。
私はあなたを守り、
あなたを与えて民の契約とし、
国を興し、荒れすたれた地を嗣業として継がせる。」

9 私は捕えられた人に『出よ』と言ひ、
暗きにおる者に『あらわれよ』と言ひ、
彼らは道すがら食べることができ、
すべての裸の山にも牧草を得る。
10 彼らは飢えることがなく、かわくこともない。
また熱い風も、太陽も彼らを撃つことはない。
彼らをあわれむ者が彼らを導き、
泉のほとりに彼らを導かれるからだ。
11 私は、わがもろもろの山を道とし、
わが大路を高くする。
12 見よ、人々は遠くから来る。
見よ、人々は北から西から、
またスエネの地から来る」。

13 天よ、歌え、地よ、喜べ。
もろもろの山よ、声を放つて歌え。
主はその民を慰め、
その苦しむ者をあわれまれるからだ。
14 しかしシオンは言った、
「主は私を捨て、主は私を忘れられた」と。
15 「女がその乳のみ子を忘れて、
その腹の子を、あわれまないようなことがあろうか。
たとい彼らが忘れるようなことがあつても、
私は、あなたが忘れることはない。
16 見よ、私は、たなごころにあなたを彫り刻んだ。
あなたの石がきは常にわが前にある。
17 あなたを建てる者は、あなたをこわす者を追い越し、
あなたを荒した者は、あなたから出て行く。
18 あなたの目をあげて見まわせ。
彼らは皆集まって、あなたのもとに来る。
主は言われる、私は生きてゐる、
あなたは彼らを皆、飾りとして身につけ、
花嫁の帯のようにこれを結ぶ。
19 あなたの荒れ、かつすたれた所、こわされた地は、
住む人の多いために狭くなり、
あなたを、のみつくした者は、はるかに離れ去る。
20 あなたが子を失つた後に生れた子らは、
なおあなたの耳に言う、
『この所は私には狭すぎる、
私のために住むべき所を得させよ』と。
21 その時あなたは心のうちに言う、
『だれが私のためにこれらの者を産んだのか。
私は子を失つて、子をもたない。
私は捕われ、かつ追いやられた。』

罪にふたしむる
出で

国をとり戻す

50

だれがこれらの者を育てたのか。
見よ、私はひとり残された。
これらの者はどこから来たのか』と」。

22 主なる神はこう言われる、
「見よ、私は手をもろもろの国にむかつてあげ、
旗をもろもろの民にむかつて立てる。
彼らはそのふところにあなたの子らを携え、
その肩にあなたの娘たちを載せて来る。
23 もろもろの王は、あなたの養父となり、
その王妃たちは、あなたの乳母となり、
彼らはその顔を地につけて、あなたにひれ伏し、
あなたの足のちりをなめる。
こうして、あなたは私が主であることを知る。
私を待ち望む者は恥をこうむることがない」。

24 勇士が奪つた獲物を
どうして取り返すことができようか。
暴君がかすめた捕虜を
どうして救い出すことができようか。
25 しかし主はこう言われる、
「勇士がかすめた捕虜も取り返され、
暴君が奪つた獲物も救い出される。
私はあなたと争う者と争ひ、
あなたの子らを救うからである。
26 私はあなたをしえたげる者にその肉を食わせ、
その血を新しい酒のように飲ませて酔わせる。
こうして、すべての人は私が主であつて、
あなたの救主、またあなたがあがない主、
ヤコブの全能者であることを知るようになる」。

1 主はこう言われる、
「私がああなたがたの母を去らせたその離縁状は、
どこにあるか。
私ほどの債主にあなたがたを売り私たか。
見よ、あなたがたは、その不義のために売られ、
あなたがたの母は、
あなたがたのために出されたのだ。
2 私が出来たとき、
なぜひとりもいなかったか。
私が呼んだとき、
なぜひとりも答える者がなかったか。
私の手が短くて、
あがなうことができないのか。
私は救う力を持たないのか。
見よ、私が、しかると海はかれ、
川は荒野となり、
その中の魚は水がないために、
かわき死んで悪臭を放つ。
3 私は黒い衣を天に着せ、
荒布をもつてそのおおいとする」。



50

- 4 主なる神は教をうけた者の舌を私に与えて、
 疲れた者を言葉をもって助けることを知らせ、
 また朝ごとにさまし、私の耳をさまして、
 教をうけた者のように聞かせられる。
- 5 主なる神は私の耳を開かれた。
 私は、そむくことをせず、
 退くことをしなかつた。
- 6 私を打つ者に、私の背をまかせ、
 私のひげを抜く者に、私のほおをまかせ、
 恥とつばきとを避けるために、
 顔をかくさなかつた。
- 7 しかし主なる神は私を助けられる。
 それゆえ、私は恥じることがなかつた。
 それゆえ、私は顔を火打石のようにした。
 私は決してはずかしめられないことを知る。
- 8 私を義とする者が近くおられる。
 だれが私と争うだろうか、
 われわれは共に立とう。
 私のあだはだれか、
 私の所へ近くこさせよ。
- 9 見よ、主なる神は私を助けられる。
 だれが私を罪に定めるだろうか。
 見よ、彼らは皆衣のようにふるび、
 しみのために食いつくされる。
- 10 あなたがたのうち主を恐れ、
 そのしもべの聲に聞き従い、
 暗い中を歩いて光を得なくても、なお主の名を頼み、
 おのれの神にたよる者はだれか。
- 11 見よ、火を燃やし、たいまつをともす者よ、
 皆その火の炎の中を歩め、
 またその燃やした、たいまつの中を歩め。
 あなたがたは、これを私の手から受けて、
 苦しみのうちに伏し倒れる。

51

- 1 「義を追い求め、
 主を尋ね求める者よ、私に聞け。
 あなたがたの切り出された岩と、
 あなたがたの掘り出された穴とを思いみよ。
 2 あなたがたの父アブラハムと、
 あなたがたを産んだサラとを思いみよ。
 私は彼をただひとりであつたときに召し、
 彼を祝福して、その子孫を増し加えた。
 3 主はシオンを慰め、
 またそのすべて荒れた所を慰めて、
 その荒野をエデンのように、
 そのさばくを主の園のようにされる。
 こうして、その中に喜びと楽しみとがあり、
 感謝と歌の声とがある。
- 4 わが民よ、私に聞け、
 わが国びとよ、私に耳を傾けよ。
 律法は私から出、
 わが道はもろもろの民の光となる。
 5 わが義はすみやかに近づき、
 わが救は出て行つた。
 わが腕はもろもろの民を治める。
 海沿いの国々は私を待ち望み、
 わが腕に寄り頼む。
- 6 目をあげて天を見、また下なる地を見よ。
 天は煙のように消え、地は衣のようにふるび、
 その中に住む者は、ぶよのように死ぬ。
 しかし、わが救はとこしえにながらえ、
 わが義はくじけることがない。
- 7 義を知る者よ、
 心のうちにわが律法をたもつ者よ、私に聞け。
 人のそしりを恐れてはならない、
 彼らののしりに驚いてはならない。
 8 彼らは衣のように、しみに食われ、
 羊の毛のように虫に食われるからだ。
 しかし、わが義はとこしえにながらえ、
 わが救はよろず代に及ぶ」。



使のさわざは、子。

エジプトから連れた使、主

9 主のかいなよ、
さめよ、さめよ、力を着よ。
さめて、いにしえの日、昔の代にあつたようになれ。
ラハブを切り殺し、

龍を刺し貫いたのは、あなたではなかつたか。
10 海をかわかし、大いなる淵の水をかわかし、
また海の深き所を、

あがなわれた者の過ぎる道とされたのは、
あなたではなかつたか。

11 主にあがなわれた者は、
歌うたいつつ、シオンに帰ってきて、
そのこうべに、とこしえの喜びをいただき、
彼らは喜びと楽しみを得、
悲しみと嘆きとは逃げ去る。

12 「私こそあなたを慰める者だ。
あなたは何者なれば、死ぬべき人を恐れ、
草のようになるべき人の子を恐れるのか。
13 天をのべ、地の基をすえられた
あなたの造り主、主を忘れて、
なぜ、しえたげる者が滅ぼそうと備えをするとき、
その憤りのゆえに常にひねもす恐れるのか。
しえたげる者の憤りはどこにあるか。
14 身をかがめている捕われ人は、すみやかに解かれて
死ぬことなく、穴にくだることなく、
その食物はつきることがない。
15 私は海をふるわせ、
その波をなりどよめかすあなたの神、主である。
その名を万軍の主という。
16 私はわが言葉あなたをあなたの口におき、
わが手の陰にあなたを隠した。
こうして、私は天をのべ、地の基をすえ、
シオンにむかつて、あなたはわが民であると言う」

17 エルサレムよ、**起きよ、起きよ、立て。**
あなたはさきに主の手から憤りの杯をうけて飲み、
よろめかす大杯を、滓までも飲みほした。
18 その産んだもろもろの子のなかに、
自分を導く者なく、
その育てたもろもろの子のなかに、
自分の手をとる者がない。
19 これら二つの事があなたに臨んだ――
だれがあなたと共に嘆くだろうか――
荒廃と滅亡、ききんとつるぎ。
20 あなたの子らは息絶えだえになり、
網にかかった、かもしかのように、
すべてをちまたのすみに横たわり、
主の憤りと、あなたの神の責めとは、
彼らに満ちている。

21 それゆえ、苦しめる者、
酒ではなく酔っている者よ、これを聞け。
22 あなたの主、おのが民の訴えを弁護される
あなたの神、主はこう言われる、
「見よ、私はよろめかす杯を、
あなたの手から取り除き、
わが憤りの大杯を取り除いた。
あなたは再びこれを飲むことはない。
23 私はこれをあなたを悩ます者の手におく。
彼らはさきにあなたにむかつて言った、
『身をかがめよ、われわれは越えていこう』と。
そしてあなたはその背を地のようにし、
ちまたのようにして、
彼らの越えていくにまかせた」。

シオン

1 シオンよ、**さめよ、さめよ、力を着よ。**

聖なる都エルサレムよ、美しい衣を着よ。
割礼を受けない者および汚れた者は、
もはやあなたのところに、はいることがないからだ。
2 捕われたエルサレムよ、
あなたの身からちりを振り落せ、起きよ。
捕われたシオンの娘よ、
あなたの首のなわを解きすてよ。

3 主はこう言われる、「あなたがたは、ただで売られた。
金を出さずにあがなわれる」。
4 主なる神はこう言われる、「わが民はさきにエジプトへ
下って行って、かしこに寄留した。またアスリヤび
とはゆえなく彼らをしえたげた。
5 それゆえ、今私はここに何をしようか。わが民はゆえな
捕われた」と主は言われる。主は言われる、「彼ら
つかさどる者はわめき、わが名は常にひねもす侮ら
る」。
れゆえ、わが民はわが名を知るにいたる。その日には
「らはこの言葉を語る者が私であることを知る。私は
ここにおる」。

「きおとずれを伝え、平和を告げ、
「きおとずれを伝え、教を告げ、
シオンにむかつて、「あなたの神は王となられた」と
言う者の足は山の上にあつて、
「ん」と麗しいことだろう。
「けよ、あなたの見張びとは声をあげて、
六に喜び歌っている。
収らは目と目と相合わせて、
王がシオンに帰られるのを見るからだ。
「ルサレムの荒れすたれた所よ、
声を放つて共に歌え。
主はその民を慰め、
エルサレムをあがなわれたからだ。
10 主はその聖なるかいなを、
もろもろの国びとの前にあらわされた。
地のすべての果は、われわれの神の救を見る。

11 去れよ、去れよ、そこを出て、
汚れた物にさわるな。
その中を出よ、主の器をになう者よ、
おのれを清く保て。
12 あなたがたは急いで出るに及ばない、
また、とんで行くにも及ばない。
主はあなたがたの前に行き、
イスラエルの神はあなたがたの
しんがりとなられるからだ。

シオンは4倍よか。



52

- 13 見よ、**わがしもべ**は榮える。
 彼は高められ、あげられ、ひじょうに高くなる。
 14 多くの人が彼に驚いたように——
 彼の顔たちは、そこなわれて人と異なり、
 その姿は人の子と異なっていたからである——
 15 彼は多くの国民を驚かす。
 王たちは彼のゆえに口をつむぐ。
 それは彼らがまだ伝えられなかったことを見、
 まだ聞かなかったことを悟るからだ。
- 1 だれがわれわれの聞いたことを
 信じ得たか。
 主の腕は、だれにあらわれたか。
 2 彼は主の前に若木のように、
 かわいた土から出る根のように育った。
 彼にはわれわれの見るべき姿がなく、威厳もなく、
 われわれの慕うべき美しさもない。
 3 彼は侮られて人に捨てられ、
 悲しみの人で、病を知っていた。
 また顔をおおって忌みきらわれる者のように、
 彼は侮られた。われわれも彼を尊ばなかった。
 4 まことに彼はわれわれの病を負い、
 われわれの悲しみになった。
 しかるに、われわれは思った、
 彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられたのだと。
 5 しかし彼はわれわれの**とが**のために傷つけられ、
 われわれの不義のために碎かれたのだ。
 彼はみずから懲しめをうけて、
 われわれに平安を与え、
 その打たれた傷によつて、
 われわれはいやされたのだ。
 6 われわれはみな羊のように迷つて、
 おのおの自分の道に向かつて行った。
 主はわれわれすべて**の者の不義を**、
 彼の上におかれた。

53

- 7 彼はしえたげられ、苦しめられたけれども、
 口を開かなかった。
 ほふり場にひかれて行く小羊のように、
 また毛を切る者の前に黙っている羊のように、
 口を開かなかった。
 8 彼は暴虐なきばきによつて取り去られた。
 その代の人のうち、だれが思ったであろうか、
 彼はわが民の**とが**のために打たれて、
 生けるもの地から断られたのだと。
 9 彼は暴虐を行わず、
 その口には偽りがなかったけれども、
 その墓は悪しき者と共に設けられ、
 その塚は悪をなす者と共にあった。
 10 しかも彼を砕くことは主のみ旨であり、
 主は彼を悩まされた。
 彼が自分を、**とが**の供え物となすとき、
 その子孫を見ることができ、
 その命をながくすることができる。
 かつ主のみ旨が彼の**手**によつて榮える。
 11 彼は自分の魂の苦しみにより光を見て満足する。
 義なる**わがしもべ**はその知識によつて、
 多くの人を義とし、また彼らの不義を負う。
 12 それゆえ、私は彼に大いなる者と共に
 物を分かち取らせる。
 彼は強い者と共に獲物を分かち取る。
 これは彼が死にいたるまで、自分の魂をそそぎだし、
とがある者と共に数えられたからである。
 しかも彼は多くの人の罪を負い、
とがある者のためにとりなしをした。

53

不義を負うしもべ



あわれみ

- 7 「私はしばしばあなたを捨てたけれども、大いなるあわれみをもってあなたを集める。
- 8 あふれる憤りをもって、しばしわが顔を隠したけれども、とこしえのいつくしみをもって、あなたをあわれむ」と
- 9 「このことは私にはノアの時のようだ。私はノアの洪水を、再び地にあふれさせないと誓ったが、そのように、私は再びあなたを怒らない、再びあなたを責めない」と誓った。
- 10 山は移り、丘は動いても、わがいつくしみはあなたから移ることなく、平安を与えるわが契約は動くことがない」とあなたをあわれまれる主は言われる。

死にふみわかれ

- 1 「子を産まなかつたうまずめよ、歌え。産みの苦しみをしなかつた者よ、声を放つて歌いよばわれ。夫のない者の子は、とついで者の子よりも多い」と主は言われる。
- 2 「あなたの天幕の場所を広くし、あなたのすまいの幕を張りひろげ、惜しむことなく、あなたの綱を長くし、あなたの杭を強固にせよ。
- 3 あなたは右に左にひろがり、あなたの子孫はもろもろの国を獲、荒れすたれた町々をも住民で満たすからだ。
- 4 恐れてはならない。あなたは恥じることがない。あわてふためいてはならない。あなたは、はずかしめられることがない。あなたは若い時の恥を忘れ、寡婦であった時のはずかしめを、再び思い出すことがない。
- 5 あなたを造られた者はあなたの夫であつて、その名は万軍の主。あなたをあがなわれる者は、イスラエルの聖者であつて、全地の神となえられる。
- 6 捨てられて心悲しむ妻、また若い時にとついで出された妻を招くように主はあなたを招かれた」とあなたを言われる。

54

義にふみ立ち

- 13 あなたの子らはみな主に教をうけ、あなたの子らは大いに栄える。
- 14 あなたは義をもって堅く立ち、しえたげから遠ざかつて恐れることはない。また恐怖から遠ざかる、それはあなたに近づくことがないからである。
- 15 たとい争いを起す者があつても私によるのではない。
- 16 見よ、炭火を吹きおこして、その目的にかなう武器を造り出す鍛冶は、私が創造した者、また荒し滅ぼす者も、私が創造した者である。
- 17 すべてあなたを攻めるために造られる武器は、その目的を達しない。
- 18 すべてあなたに逆らい立つて、争い訴える舌は、あなたに説き破られる。
- 19 これが主のしもべらの受ける嗣業であり、また彼らが私から受ける義である」と主は言われる。

平和の石の門

- 11 「苦しみをうけ、あらしにもてあそばされ、慰めを得ない者よ、見よ、私はアンチモニーであなたの石をすえ、サファイヤであなたの基をおき、12 めのうであなたの尖塔を造り、紅玉であなたの門を造り、あなたの城壁をことごとく寶石で造る。

54

慰め あわれみ

申30:3 (出33:19)

あがない 聖とみ

1350 不義とが 罪



陽に春に水、雨。

55

1 「さあ、かわいている者は
みな水にきたれ。
金のない者もきたれ。
来て買い求めて食べよ。
あなたがたは来て、金を出さずに、
ただでぶどう酒と乳とを買い求めよ。
2 なぜ、あなたがたは、
かてにもならぬもののために金を費し、
飽きることもできぬもののために労するのか。
私によく聞き従え。
そうすれば、良い物を食べる事ができ、
最も豊かな食物で、自分を楽ませることが出来る。

3 耳を傾け、私にきて聞け。
そうすれば、あなたがたは生きることが出来る。
私は、あなたがたと、とこしえの契約を立てて、
ダビデに約束した変らない確かな恵みを与える。
4 見よ、私は彼を立てて、
もろもろの民への証人とし、
また、もろもろの民の君とし、命令する者とした。
5 見よ、あなたは知らない国民を招く、
あなたを知らない国民は
あなたのもとに走ってくる。
これはあなたの神、主、
イスラエルの聖者のゆえであり、
主があなたに光栄を与えられたからである。

空に帰れ。

55

6 あなたがたは主にお会いすることのできるうちに、
主を尋ねよ。
近くおられるうちに呼び求めよ。
7 悪しき者はその道を捨て、
正らぬ人はその思いを捨てて、主に帰れ。
そうすれば、主は彼にあわれみを施される。
われわれの神に帰れ、
主は豊かにゆるしを与える。
8 わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、
わが道は、あなたがたの道とは異なっていると
主は言われる。

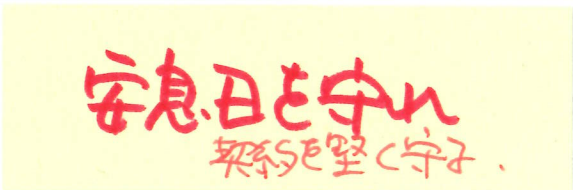
ことばは必ず「命」

9 天が地よりも高いように、
わが道は、あなたがたの道よりも高く、
わが思いは、あなたがたの思いよりも高い。
10 天から雨が降り、雪が落ちてまた帰らず、
地を潤して物を生えさせ、芽を出させて、
種まく者に種を与え、
食べる者にかてを与える。
11 このように、わが口から出る言葉も、
むなしく私に帰らない。
私の喜ぶところの事をなし、
私が命じた事を果す。
12 あなたがたは喜びをもつて出てきて、
安らかに導かれて行く。
山と丘とはあなたの前に声を放って喜び歌い、
野にある木はみな手を打つ。
13 いとすぎは、いばらに代って生え、
ミルトスの木は、おどろに代って生える。
これは主の記念となり、
また、とこしえのしるしとなつて、
絶えることはない。



56

- 1 主はこう言われる、
 「あなたがたは公平を守って正義を行え。
 わが救の来るのは近く、
 わが助けのあらわれるのが近いからだ。
 2 安息日を守って、これを汚さず、
 その手をおさえて、悪しき事をせず、
 このように行う人、
 これを堅く守る人の子はさいわいである」。
- 3 主に連なっている異邦人は言ってはならない、
 「主は必ず私をその民から分かれたる」と。
 宦官もまた言ってはならない、
 「見よ、私は枯れ木だ」と。
- 4 主はこう言われる、
 「わが安息日を守り、わが喜ぶことを選んで、
 わが契約を堅く守る宦官には、
 5 わが家のうちで、わが垣のうちで、
 むすこにも娘にもまさる記念のしるしと名を与え、
 絶えることのない、とこしえの名を与える。
- 6 また主に連なり、主に仕え、
 主の名を愛し、そのしもべとなり、
 すべて安息日を守って、これを汚さず、
 わが契約を堅く守る異邦人は――
 7 私はこれをわが聖なる山にこさせ、
 わが祈の家のうちで楽しませる、
 彼らの燔祭と犠牲とは、
 わが祭壇の上に受けいれられる。
 わが家はすべての民の
 祈の家となえられるからである」。
- 8 イスラエルの追いやられた者を集められる
 主なる神はこう言われる、
 「私はさらに人を集めて、
 すでに集められた者に加えよう」と。



56

- 9 野のすべての獣よ、
 林におるすべての獣よ、来て食らえ。
 10 見張人らはみな目しいで、知ることがなく、
 みな、おしの犬で、ほえることができない。
 みな夢みる者、伏している者、
 まどろむことを好む者だ。
- 11 この犬どもは強欲で、飽くことを知らない。
 彼らはまた悟ることのできない牧者で、
 皆おのが道にむかいゆき、
 おのおのみな、おのれの利を求めぬ。
- 12 彼らは互に言う、
 「さあ、われわれは酒を手に入れ、
 濃い酒をあびるほど飲もう。
 あすも、きょうのようであるだろう、
 すばらしい日だ」と。

57

- 1 正しい者が滅びても、
 心にとめる人がなく、
 神を敬う人々を取り去られても、悟る者はない。
- 2 正しい者は災の前に取り去られて、
 2 平安に入るからである。
 すべて正直に歩む者は、その床に休むことができる。



57

- 3 しかし、あなたがた女魔法使の子よ、
 姦夫と遊女のすえよ、こちらへ近寄れ。
 4 あなたがたは、だれにむかつて戯れをなすのか。
 だれにむかつて口を開き、舌を出すのか。
 あなたがたは背信の子ら、
 偽りのすえではないか。
 5 あなたがたは、かしの木の中間、
 すべての青木の下で心をこがし、
 谷の中、岩のはざままで子どもを殺した。
 6 あなたは谷のなめらかな石を自分の嗣業とし、
 これを自分の分け前とし、
 これに灌祭をそそぎ、供え物をささげた。
 私はこれらの物によってなだめられようか。
 7 あなたは高くそびえた山の上に自分の床を設け、
 またそこに登って行って犠牲をささげた。
 8 また戸および柱のうしろに、
 あなたのしるしを置いた。
 あなたは私を離れて自分の床をあらわし、
 それにのぼって、その床をひろくした。
 また彼らと契約をなし、彼らの床を愛し、
 その裸を見た。
 9 あなたは、におい油を携えてモレクに行き、
 多くのかおり物をささげた。
 またあなたの使者を遠くにつかわし、
 陰府の深い所にまでつかわした。
- 10 あなたは道の長いのに疲れても、
 なお「望みがない」とは言わなかった。
 あなたはおのが力の回復を得たので、
 衰えることがなかった。
 11 あなたはだれをおじ恐れて、偽りを言い、
 私を覚えず、また心におかなかつたのか。
 私が久しく黙っていたために、
 あなたは私を恐れなかつたのではなかつたか。
 12 私はあなたの義と、あなたのわざを告げ示そう、
 しかしこれらはあなたを益しない。
 13 あなたが呼ばれる時、
 あなたが集めておいた偶像にあなたを救わせよ。
 風は彼ら運び去り、
 息は彼らを取り去る。
 しかし私に寄り頼む者は地を継ぎ、
 わが聖なる山をまもる。

57

- 14 主は言われる、
 「土を盛り、土を盛って道を備えよ、
 わが民の道から、つまり物を取り去れ」と。
 15 いと高く、いと上なる者、とこしえに住む者、
 その名を聖となえられる者がこう言われる、
 「私は高く、聖なる所に住み、
 また心碎けて、へりくだる者と共に住み、
 へりくだる者の霊をいかし、
 碎ける者の心をいかす。
 16 私はかぎりなく争わない、
 また絶えず怒らない。
 霊は私から出、
 いのちの息は私がつくつたからだ。
 17 彼のむざぼりの罪のゆえに、
 私は怒って彼を打ち、
 わが顔をかくして怒った。
 18 私は彼の道を見た。
 私は彼をいやし、
 また彼を導き、慰めをもって彼に報い、
 悲しめる者のために、くちびるの実を造らう。
 19 遠い者にも近い者にも平安あれ、平安あれ、
 私は彼をいやそう」と主は言われる。
 20 しかし悪しき者は波の荒い海のようにだ。
 静まることができずに、
 その水はついに泥と汚物とを出す。
 21 わが神は言われる、
 「よこしまな者には平安がない」と。



1 「大いに呼ばわつて声を惜しむな。
あなたの声をラツパのようにあげ、
わが民にそのとがを告げ、
ヤコブの家にその罪を告げ示せ。
2 彼らは日々私を尋ね求め、
義を行い、神のおきてを捨てない国民のように、
わが道を知ること喜び、
彼らは正しいさばきを私に求め、
神に近づぐことを喜ぶ。」

65

3 彼らは言う、
『われわれが断食したのに、
なぜ、ごらんにならないのか。
われわれがおのれを苦しめたのに、
なぜ、ごぞんじないのか』と。
見よ、あなたがたの断食の日には、
おのが楽しみを求め、
その働ぎ人をことごとくしえたげる。
4 見よ、あなたがたの断食するのは、
ただ争いと、いさかいのため、
また悪のごぶしをもつて人を打つためだ。
きょう、あなたがたのなす断食は、
その声を上に聞えさせるものではない。
5 このようなものは、私の選ぶ断食であろうか。
人がおのれを苦しめる日であろうか。
そのこうべを葦のように伏せ、
荒布と灰とをその下に敷くことであろうか。
あなたは、これを断食となえ、
主に受けいられる日と、となえるであろうか。

偽りの断食

6 私が選ぶところの断食は、
悪のなわをほどき、くびきのひもを解き、
しえたげられる者を放ち去らせ、
すべてのくびきを折るなどの事ではないか。
7 また飢えた者に、あなたのパンを分け与え、
さすらえる貧しい者を、あなたの家に入れ、
裸の者を見て、これを着せ、
自分の骨肉に身を隠さないなどの事ではないか。
8 そうすれば、あなたの光が暁のようにあらわれ出て、
あなたは、すみやかにいやされ、
あなたの義はあなたの前に行き、
主の栄光はあなたのしんがりとなる。
9 また、あなたが呼ぶとき、主は答えられ、
あなたが叫ぶとき、

『私はここにおる』と言われる。
もし、あなたの中からくびきを除き、
指をさすこと、悪い事を語ることを除き、
10 飢えた者にあなたのパンを施し、
苦しむ者の願いを満ち足らせるならば、
あなたの光は暗きに輝き、
あなたのやみは真昼のようになる。
11 主は常にあなたを導き、
良き物をもつてあなたの願いを満ち足らせ、
あなたの骨を強くされる。
あなたは潤った園のようになる。
12 あなたの子らは久しく荒れすたれたる所を興し、
あなたは代々やぶれた基を立て、
人はあなたを『破れを繕う者』と呼び、
『市街を繕って住むべき所となす者』と
呼ぶようになる。
13 もし安息日にあなたの足をとどめ、
わが聖日にあなたの楽しみをなさず、
安息日を喜びの日と呼び、
主の聖日を尊ぶべき日となえ、
これを尊んで、おのが道を行わず、
おのが楽しみを求めず、
むなししい言葉を語らないならば、
14 その時あなたは主によつて喜びを得、
私は、あなたに地の高い所を乗り通らせ、
あなたの先祖ヤコブの嗣業をもつて、
あなたを養う』。
これは主の口から語られたものである。

眞の断食



59

- 1 見よ、主の手が短くて、
救い得ないのではない。
その耳が鈍くて聞き得ないでもない。
2 ただ、あなたがたの不義が
あなたをたがの神との間を隔てたのだ。
またあなたがたの罪が
3 あなたがたの手は血で汚れ、
あなたがたの指は不義で汚れ、
あなたがたのくちびるは偽りを語り、
あなたがたの舌は悪をささやき、
4 ひとりも正義をもって訴え、
真実をもって論争する者がない。
彼らはむなしきことを頼み、偽りを語り、
害悪をはらみ、不義を産む。
5 彼らはまむしの卵をかえし、くもの巣を織る。
その卵を食べる者は死ぬ。
6 その織る物は着物とならない。
その造る物をもって身をおおうことができない。
彼のわざは不義のわざであり、
7 彼らの手には暴虐の行いがある。
彼らの足は悪に走り、
罪のない血を流すことに速い。
彼らの思いは不義の思いであり、
8 荒廃と滅亡とがその道にある。
彼らは平和の道を知らず、
その行く道には公平がない。
彼らはその道を曲げた。
すべてこれを歩む者は平和を知らない。
9 それゆえ、公平は遠くわれわれを離れ、
正義はわれわれに追いつかない。
われわれは光を望んでも、暗きを見、
輝きを望んでも、やみを行く。
10 われわれは盲人のように、かきを手さぐりゆき、
目のない者のように手さぐりゆき、
真昼でも、たそがれのようにつまずき、
強壯な者の中にあっても死人のようだ。
11 われわれは皆くまのようにほえ、
はとのようにいたくうめき、
公平を望んでも、きたらず、
救を望んでも、遠くわれわれを離れ去る。
12 われわれのとがは、あなたの前に多く、
罪は、われわれを訴えて、あかしをなし、
とがは、われわれと共にあり、
不義は、われわれがこれを知る。

59

- 13 われわれは、そむいて主をいなみ、
退いて、われわれの神に従わず、
しえたげと、そむきとを語り、
偽りの言葉を心にはらんで、それを言いあらわす。
14 公平はうしろに退けられ、
正義ははるかに立つ。
それは、真実は広場に倒れ、
正直は、はいることができないからである。
15 真実は欠けてなく、
悪を離れる者はかすめ奪われる。
主はこれを見て、
公平がなかったことを喜ばれなかった。
16 主は人のないのを見られ、
仲に立つ者のないのをあやしまれた。
それゆえ、ご自分のかいなをもつて、勝利を得、
その義をもつて、おのれをささえられた。
17 主は義を胸当としてまとい、
救のかぶとをその頭にいただき、
報復の衣をまとして着物とし、
熱心を外套として身を包まれた。
18 主は彼らの行いにしたがって報いをなし、
あだにむかつて怒り、
敵にむかつて報いをなし、
海沿いの国々にむかつて報いをされる。
19 こうして、人々は西の方から主の名を恐れ、
日の出る方からその栄光を恐れる。
主は、せき止めた川を、
そのいぶぎで押し流すように、こられるからである。
20 主は言われる。
「主は、あがなう者としてシオンにきたり、
ヤコブのうちの、とがを離れる者に至る」と。
21 主は言われる、「私が彼らと立てる契約はこれである。
あなたの上にあるわが霊、あなたの口においたわが
言葉は、今から後とこしえに、あなたの口から、あな
たの子らの口から、あなたの子らの子の子の口から離れる
ことはない」と。

